

平成 21 年 7 月 31 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問い合わせ先 経営企画部長 鈴木 文彦
電話番号 03-5730-2480

営業外費用、特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 12 月期第 2 四半期会計期間において、下記の通り営業外費用及び特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

併せて、平成 21 年 2 月 6 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外費用及び特別損失の計上

(1) 営業外費用の計上とその概要

当社が資産運用目的で出資している投資事業組合の当社持分相当額が減少したことによって、投資事業組合損失 3 億 21 百万円を営業外費用として計上いたします。

なお、この持分相当額減少は、主に当投資事業組合の保有するアヴォンテック ゲーエムベーパー（独）と株式会社ティーエスディージャパンの株式について、実質価額の低下に伴う減損処理を行った影響によるものです。

(2) 特別損失の計上とその概要

① 固定資産除却損

当第 2 四半期連結会計期間で特許権を中心とした固定資産除却損 18 百万円を計上したことにより、既に第 1 四半期で計上したものを加えて当第 2 四半期連結累計期間で 21 百万円を固定資産除却損として計上しております。

② 投資有価証券評価損

当社が保有する「その他投資有価証券」に区分される保有投資有価証券のうち、株式会社ティーエスディージャパンの株式について、実質価額の低下に伴う減損処理により投資有価証券評価損 1 億円を特別損失に計上いたします。

(参考) 投資事業組合損失及び投資有価証券評価損の総額及び純資産額への影響額

	連結	個別
(A) 平成 21 年 12 月期の第 2 四半期末の 投資事業組合損失及び投資有価証券 評価損の総額	421 百万円	421 百万円
(B) 平成 20 年 12 月期の純資産額 (A/B×100)	8,963 百万円 (4.7%)	8,671 百万円 (4.9%)

投資事業組合損失及び投資有価証券評価損については、第 1 四半期会計期間において既に計上した金額はありません。

なお、当社は最近 5 事業年度はすべて連結・個別決算ともに経常損失及び当期純損失を計上しており、最近 5 事業年度の経常利益額の平均及び最近 5 事業年度の当期純利益額の平均については記載を省略しております。

(ご参考) 当社の決算期末(事業年度の末日)は 12 月 31 日です。

2. 業績予想の修正について

(1) 通期の業績予想数値の修正(平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益	1 株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想	600 ～900	△2,900 ～△2,700	△2,800 ～△2,500	△2,800 ～△2,500	△23,778.99 ～△21,231.24
今回発表予想	600 ～900	△2,900 ～△2,700	△3,100 ～△2,800	△3,200 ～△2,900	△27,175.99 ～△24,628.24
(ご参考) 前期実績	951	△2,684	△2,541	△3,534	△30,079.51

(2) 修正の理由

当連結会計期間における業績は、上記記載の営業外費用、特別損失を計上する事から平成 21 年 2 月 6 日に公表した業績見通しを下回る見通しとなりました。

以上